



ワレモコウ

夏緑／多年草／地被類等／草本植物／在来種



科名 バラ科 (APGⅢ)

特記 生長：やや速い

日当たりの良い山地から海沿いの草原まで各地に自生する。夏を過ぎると、枝の先々に花穂をつけるので急に目立ってくる。数cm程の花穂がいくつも風に揺れ風情ある景色になる。晩秋まで揺れている。花弁はなく、紅色をした萼(がく)がある。白花や穂の長い品種もある。



葉



花穂



果穂



株と葉

Memo

花穂は頂部から咲き始める有限花序。下から咲き上がると頂部に蕾を増やせるため無限花序になる。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花 期							■						
果 実									■				
紅 葉											■		
施 肥	(不要)												
剪 定													■ (枯れた地上部の除去)

好みの環境				
日当り	陽	○	○	陰
土 壤	乾	○	○	湿
寒 さ	強	○		弱
暑 さ	強	○		弱
潮 風	強	○		弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
		○					

ポイント

日当たりよい場所が適地。野趣ある山野草なので周囲の配植も自然風の取り合わせが向いている。粗い鋸歯をつける羽状複葉も個性的。肥料を与えると枝葉ばかりが大きくなるので注意する。

剪 定

花穂を伸ばすと倒れやすくなる。草丈の2/3程の支柱を目立たないように添わせるとよい。花殻も観賞ポイントになるので切らずに楽しみたい。紅葉もなかなか美しい。切除はその後がお薦め。

病虫害

病害はうどんこ病。虫害はハダニが発生することがある。